

はじめに

本市では、平成 11 年に第一期環境基本計画の策定以降、逐次環境基本計画の改定を行い、平成 22 年度からは第三期環境基本計画により、市内の環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に取り組んできました。

現在、市内においては市民・市民団体・事業者の環境への関心は高く、それぞれの環境活動や取組は活発に行われています。

一方、この間に私たちを取り巻く環境は、世界規模の地球温暖化や気象変動、エネルギー資源の枯渇、環境汚染、自然環境破壊等、大きく変化し、日本国内においても頻発するゲリラ豪雨等の異常気象により表面化してきています。

このような状況の中で、今後は、これまで以上に私たち自身が環境の変化を自らの問題として捉え、主体的に環境配慮行動を実践していくことが求められています。

このたび、策定した第四期環境基本計画では、これまで築き上げてきた「エコシティ」という言葉で表す本市の環境に対する考え方やそれに基づく行動を受け継ぎつつ、新たに「スマートシティむさしの」を将来像（環境像）に掲げています。

この「スマートシティ」という言葉には、環境に係る様々な要素、市民・市民団体・事業者・行政（市）等の多様な情報・経験・価値観等をネットワーク化することにより、新たな連携・活動を生み出しながら、本市らしい環境都市を主体的に創り出していこうとの思いが込められています。

そのために、今計画では環境情報の分かりやすい提供、地産地消のエネルギー施策、さらに緑や水に配慮したまちづくりを重点項目としてより一層推進していくことを位置づけました。

これらの取組を実践しながら、本市ならではの市民自治によりまちづくりを進めてきた経緯や、「エコシティ」から紡いできた人と人とのつながりや世代間での意識の共有を図り、市民・市民団体・事業者・行政（市）の連携により、「スマートシティむさしの」の実現をめざします。

結びに、昨年度からご尽力いただきました田畑委員長をはじめとする環境市民会議の皆様、ご意見等を寄せていただきました皆様、無作為抽出市民によるワークショップに参加いただいた市民の皆様、環境基本計画の策定に携わりいただきました全ての方々のご協力に心から感謝申し上げます。

平成 27 年 12 月

武蔵野市長

邑上守正